

# THIRTEENTH INTERNATIONAL CONFERENCE ON FLOW DYNAMICS, ICFD2016



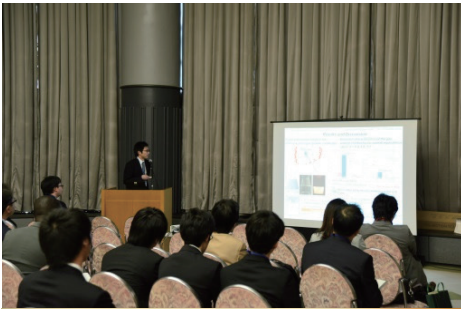
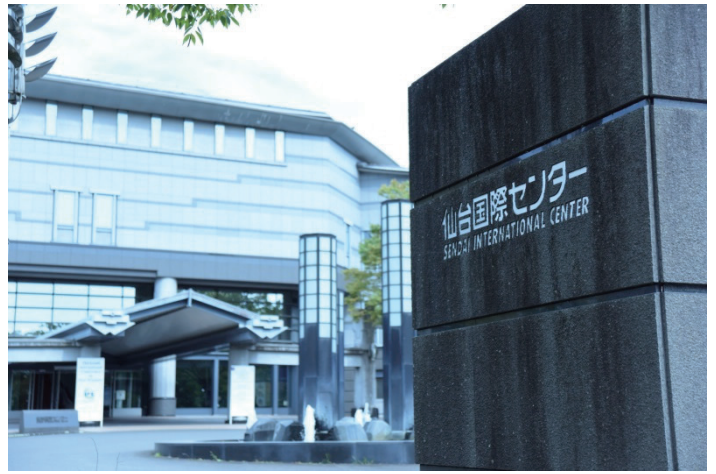
## **The Twelfth International Students / Young Birds Seminar on Multi-scale Flow Dynamics**

**October 10 - 12, 2016**  
**Sendai International Center, Sendai, Japan**

## Thirteenth International Conference on Flow Dynamics

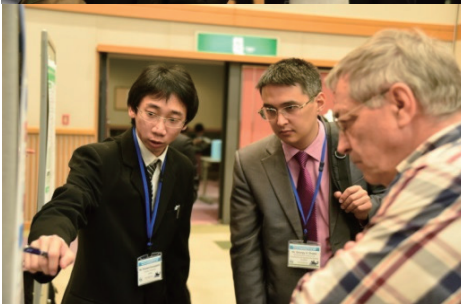
第13回流動ダイナミクスに関する国際会議(以下ICFD2016)が、平成28年10月10日(月)から10月12日(水)にかけて、仙台国際センターにおいて開催されました。

22カ国から584名(外国人202名)の方々に参加し、430件の発表がありました。学生の参加者数は、288名で、学外からの学生参加者数は89名でした。



## 国際的若手研究者育成の場

本ICFD国際会議は大学院生の教育にも力をいれており、学生セッションは本会議の中でも重要な位置付けを担っています。学生がオーガナイザーを務め自主的に企画運営するという特徴を持つ学生セッション。今回、博士課程の赤上研太氏、奥野友哉氏、ロッケンバッハ怜氏3名の学生オーガナイザーがプログラムの作成から講演論文のフォーマットチェック、Friendship Nightの取りまとめ役を務めました。Friendship Nightの運営経費については青葉工学振興会および機器研究会などからの支援をいただきました。当日の会場係なども学生が主体となって行っており、英語での発表論議能力を養成しながら研究組織運営とリーダーシップの訓練を行いました。今後も、本ICFD国際会議では、国際的・先導的人材育成を目指し学生セッションを支援していきます。



学生オーガナイザーのコメントは以下のとおりです。

この度は学生セッションのオーガナイザーという大役を務めることができ、大変光栄に思います。無事に役割を完遂できたのも、事務局や先生方などの多大なるご協力のおかげだと思っております。この機会に、大きなイベントや仕事を進める上での時間間隔を養うことができ、とてもいい経験になりました。(奥野 友哉)

学生オーガナイザーを引き受けた当初の理由は、「学会を運営側から見てみたい」というものでした。しかし学生オーガナイザーの仕事を進めていくうちに、「見てみたい」という望みは瞬く間に達成され、「運営側として学会を成功させたい」という気持ちに変化していきました。学会当日のセッションの座長や Friendship

Nightの運営は無事に務めることはできましたが、自身の英語力や積極性など自分の課題を見つけることにつながりました。こうした貴重な経験の場を与えてくださった、スーパーバイザーや事務局の方々に感謝を申し上げます。(赤上 研太)



学生オーガナイザー  
(写真左から：奥野友哉氏、赤上研太氏)



## Best Presentation Award

学生セッションで発表した学生 62 名に対し、教員および参加者が投票を行い、Best Presentation Award を選出しました。10 月 11 日に行われた ICFD2016 パンケットにおいて表彰式が行われ、共同議長である丸田薫教授と Nam Il Kim 教授により、賞状の授与がありました。



写真右から：大林茂所長、奥野友哉氏、大塚啓介氏、花崎恭平氏、Ziyue Xu 氏、赤上研太氏、丸田薫共同議長、Nam Il Kim 共同議長

花崎 恭平氏（長岡技術科学大学大学院 工学研究科 M2）

今回、このような光栄な賞をいただきましたこと、大変嬉しく思います。国際的な場で議論を行う事で、新たな知見を多く得られました。このような機会を与えてくださり誠にありがとうございます。この経験を忘れず今後とも精進してまいります。

Mr. Ziyue Xu (M2, IFS, Tohoku University)

It was my honor to participate in the 13th ICFD and receive the Best Award. This international conference was a great communication platform for researchers and young students.

I would make full use of this experience in my research and strongly encourage my junior to attend the next ICFD in Sendai.

## Friendship Night

参加資格があるのは、学生のみで、教員は不可という

「学生の、学生による、学生のためのフレンドシップナイト」。

今年も会議初日に行われ、大いに盛り上がりました。今年も、Syracuse University から参加した Ryan Falkenstein-Smith 氏および昨年 Best Presentation Award を受賞した長岡技術科学大学 高桑雄太氏がショートプレゼンを行い、親睦を深めるだけでなく、学術的交流も行い、学生にとっては有意義な会となりました。



Best Presentation Award 受賞者のコメントは以下のとおりです。

大塚 啓介氏（東北大学 工学研究科 D1）

Best Award を賜る事ができまして、大変光栄に思います。私は構造流体の連成挙動解析を中心に異分野領域融合を目指した研究をしています。ICFD という大きな国際舞台で様々な方々と交流でき、自身の研究領域をさらに広げることができました。今回の交流を大切にして、今後の研究に邁進していきたいと思います。



# *Fourteenth International Conference on Flow Dynamics (ICFD2017)*

## 開催のお知らせ

第14回流動ダイナミクスに関する国際会議を下記の通り開催致します。  
是非、ご参加下さいませようお願い申し上げます。

日にち：平成29年11月1日（水）～11月3日（金）

場 所：仙台国際センター（仙台市青葉区青葉山無番地 <http://www.aobayama.jp/>）

URL: <http://www.ifs.tohoku.ac.jp/icfd2017>

ICFD事務局： 東北大学流体科学研究所内 ICFD事務局（仙台市青葉区片平2-1-1）

TEL&FAX: 022-217-5301 E-mail: [icfd2017@fmail.ifs.tohoku.ac.jp](mailto:icfd2017@fmail.ifs.tohoku.ac.jp)



*See you at ICFD2017!*

東北大学流体科学研究所  
卓越した大学院拠点形成支援  
「流動ダイナミクス知の融合教育研究世界拠点」事務局  
平成29年2月発行

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1  
東北大学流体科学研究所卓越拠点事務局  
TEL&FAX 022-217-5301